

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

2022.8
vol.148

プロジェクトのまど in 椎葉村

しいば！ おどしいば！ 2022

こどももおとなも劇場#7
茂山千五郎家『狂言』

ひなたのバロック#3
クラヴサンのための音楽とロココの絵画

【この秋、2大おすすめ公演！】

みやざきの舞台芸術シリーズⅠ
御神木ヴァイオリン～OTODAMA～

【アートな学び舎2022】

【プロジェクト「の、まど」『油津ぶらり旅』レポート】

劇場を飛び出してたどり着いた先は椎葉村。色濃い緑に囲まれた村で出会ったのは、とっても元気な子どもたち！劇場のプロジェクト「の、まど」と椎葉村の「放課後子ども教室」がタイアップして、キッズ・ダンサーズとともにダンスに挑戦！神楽や臼太鼓踊りが根付く椎葉村の“おどりば”に集合だ！



メディキット県民文化センター
MEDIKIT ARTS CENTER

広報誌

茂山千五郎家

狂言



毎年好評の、こどももおとなも楽しめる舞台芸術シリーズ「こどもおとなも劇場」。今回はなんと、狂言! 京都の茂山千五郎家が登場します。

伝統芸能でありながら、今を生きる私たちにも通じる“笑い”の世界は、おおらかで明るい気持ちにさせてくれます。「観たことない」「伝統芸能って難しそう」という方も多いはず。ぜひこの機会に、親子で狂言に触れてみませんか？

茂山千五郎家って？

「能楽師大蔵流狂言方 茂山千五郎家」は、江戸初期から約400年にわたり、京都を中心に息づいてきた狂言師の家です。いつの世にも広く愛され、飽きのこない、そして味わい深い“お豆腐狂言”をモットーに、狂言の普及・継承に勤めている茂山千五郎家。その魅力はなんといっても、その柔軟さと親しみやすさ! 各地での狂言上演だけでなく、YouTubeでの狂言会「YouTubeで逢いましょう!」をライブ配信したり、演劇やオペラ、テレビドラマ、コントの演出・出演・プロデュースなどなど、その活動は多岐にわたります。

今回上演するのはこの2曲(演目)!

狂言

「かきゅう」

太郎冠者、まさかの思い込み! 「かきゅう」はカタツムリのこと。太郎冠者と山伏のおかしなやり取りに、笑わずにはられません。

あらすじ

主人の言いつけでカタツムリを探しに行った太郎冠者。ところが、カタツムリを見たことがない太郎冠者、藪の中で寝ていた山伏をカタツムリだと思い込み……。



狂言

「すすぎ」

嫁姑問題…ではなく、嫁姑VS気の弱い夫! いったいどんな結末に…? フランス中世のファルス(喜劇)をヒントにした新作狂言です。

あらすじ

裏の川で洗濯する夫に、嫁と姑が次々に仕事を命じるので、夫は仕事を紙に書いてもらい、書いていないことはしくてもよい、という約束をとりつけます。そして夫はささやかな反抗を試みて……。



予習でますます楽しめる! 狂言のルール

「名乗り」=自己紹介

狂言の登場人物は、舞台上に登場すると、まず自己紹介をします。これを「名乗り」といい、この人がどういう人で、何をしようとしているのか、おおまかな筋を知ることができます。

「音」に注目!

狂言では、擬音も声に出して表現します。ものを食べるときは「アム、アム、アム」、のこぎりで木を切るときは「ズカズカズカ」など。今回上演する演目では、どんな“音”で表現されているか、ぜひ注目してみてください!

“なにもない”舞台

狂言は、能と共に演じられるのが基本。その舞台は、能と同じ「能舞台」です。

狂言には、現代劇のような大道具はありません。「木だ!」と言われればそこに木がある“つもり”。場面転換も、人物が舞台上を三角に歩いて「〇〇に着いた!」と言うのが合図です。観る人の想像力にゆだねられるのも、狂言の魅力。舞台上にどんな景色が広がっているか、想像してみるのも楽しいですね。

※今回の公演は、能舞台を簡略にした舞台上で上演します。

公演情報

こどもおとなも劇場 #7 茂山千五郎家「狂言」

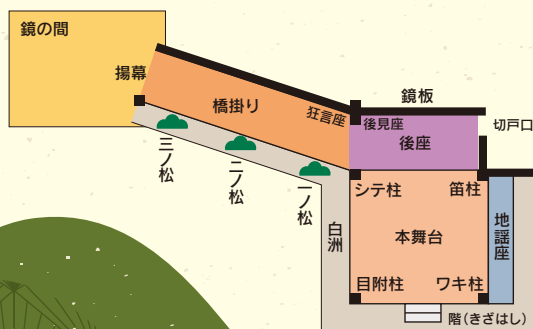
宮崎公演

日時: 2022年10月29日(土)
開場 13:30 開演 14:00
会場: メディキット県民文化センター
(宮崎県立芸術劇場) 演劇ホール

門川公演

日時: 2022年10月30日(日)
開場 13:30 開演 14:00
会場: 門川町総合文化会館

【出演者】茂山千五郎、茂山 茂、網谷正美、松本 薫、井口竜也、山下守之



ひなたのバロック #3

HINATA no BAROQUE

クラヴサンのための音楽とロココの絵画

担当に訊く

ところで、ロココって何？

当世風にWikipediaに訊くと、「美術史で使われた用語で、バロックに続く時代の美術様式を指す。18世紀、ルイ15世のフランス宮廷から始まり、ヨーロッパの他国にも伝えられ、流行した。」とあります。「豪壮・華麗なバロックに対して、優美・繊細なロココともいわれるが」云々、とも。そういえば太宰治の「女生徒」に、「ロココという言葉、こないだ辞典でしらべてみたら、華麗のみにて内容空疎の装飾様式、と定義されていたので、笑っちゃった。名答である。」とありました。ひどい…。でもまあその一節、締めめの文は、「だから、私は、ロココが好きだ。」なんですけどね。「檸檬」で米津玄師でなく梶井基次郎も、「(前略)典雅なロココ趣味の浮模様を持った琥珀色や翡翠色の香水罐。(中略)私はそんなものを見るのに小一時間も費やすことがあった。」って言ってます。



劇場所有のチェンバロ

クーブランやラモーなど、バロック期のフランスのクラヴサン(=チェンバロ)のための音楽には不思議なタイトルを持つ美しい作品がたくさんあります。劇場にあるフランス様式のチェンバロにまさにぴったりなこれらの作品をたっぷりとお楽しみいただきます。すてきなゲストをお招きしての、同時代のロココ絵画や宮廷舞踏との共通点を探るトークもどうぞお聞き逃しなく。(大塚直哉)



チラシの絵が素敵!

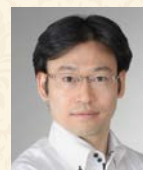
これ誰? 今回、ダンスもあるの?

この絵画は、ニコラ・ランクレ作《踊るカマルゴ嬢》(1730年)。カマルゴ嬢は、18世紀の著名な踊り子。今回の内容に密接に関わるそうですよ!そして昨年、「王の夜のバレ」公演で素敵なお古典舞踏を披露くださった市瀬陽子さんに、今回も1曲(たぶん)、踊っていただく予定です。乞うご期待!



市瀬さんが出演した前回の公演「王の夜のバレ」より

出演者



大塚 直哉
(企画・監修/チェンバロ)



小林 亜起子
(美術史家)



市瀬 陽子
(古典舞踏家)

Point

イチオシのポイント

「ロココ様式」「ロココ調」「ロココ趣味」など、なんとなく耳にしたことのある方も少なくないかと思います。皆さんは「ロココ」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか? 私は、「おほほ、うふふ」というイメージです。ロココとおほほ、ちょっと韻を踏んでみました。いかがでしょうか。そんな、ふんわりした「ロココ」について、絵画やダンス、そしてクラヴサン音楽にふれながら紐解いていくうちに、五感がどんどん幸せになる。当時にタイムスリップして、優雅なひとときをお楽しみいただければと思います。きっと、気分はマリー・アントワネット。宮崎のヴェルサイユ、プチ・トリアノン離宮へようこそ♪ Les Musesでケーキを食べたらいいじゃない?…ちょっとふんわりしすぎでしょうか?

※「レミューズ」は劇場内にあるレストラン

公演情報

ひなたのバロック #3

11月6日(日) 開場 13:30 / 開演 14:00

会場:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) イベントホール

[出演]大塚 直哉(企画・監修/チェンバロ)、
小林 亜起子(美術史家)、市瀬 陽子(古典舞踏家)

[プログラム]F. クーブラン:『クラヴサン曲集』より
「百合の花ひらく」シテール島の鐘
「フランスのフォリア、または色とりどりのドミノ」
ダカン:「かっこう」
ラモー:「つむじ風」「やさしい嘆き」「タンブーラン」
デュフリ:「摂政」 ほか

クラシック・キャラバン2022 ピアソラ没後30周年 ガラ・コンサート

クラシック音楽が世界をつなぐ ～輝く未来に向けて～

ここが聴きどころ！

バンドネオンの三浦一馬をはじめとする豪華なソリスト陣を迎え、14名の室内オーケストラが奏でる「ピアソラの世界」。タンゴに新世界をもたらしたアストル・ピアソラの没後30周年ガラ・コンサートをお届けします。誰もが知る名曲「リベルタンゴ」を含めたピアソラの世界に浸るひとときをお過ごしください。



福田進一
(ギター)
©Takanori Ishii

上村文乃
(チェロ)

小林美樹
(ヴァイオリン)
©山吹康男



朝岡 聡
(司会)



三浦一馬
(バンドネオン)
©Toshinori Iida

ロー磨秀
(ピアノ)
©Takafumi Ueno

上野由恵
(フルート)

日時:9月23日(金・祝) 開演14:00

会場:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
演劇ホール

[出演者] 上野由恵(フルート)、上村文乃(チェロ)、
小林美樹(ヴァイオリン)、三浦一馬(バンドネオン)、
福田進一(ギター)、ロー磨秀(ピアノ)、朝岡 聡(司会)
[スーパー・クラシック・アンサンブル]
ヴァイオリン:落合真子、小関郁、篠原悠那、東條太河、
堀真亜菜、吉江美桜、米岡結姫
ヴィオラ:鈴木慧悟、鈴木大樹、田原綾子
チェロ:上村文乃、矢部優典
コントラバス:加藤雄太、廣永瞬

[曲 目] アストル・ピアソラ/リベルタンゴ/ル・グラン・タンゴ/
ブエノスアイレスの四季/アディオス・ノニーノ ほか

この秋、2大おすすめ公演！

劇場が贈る、この秋イチオシのクラシック・コンサート。
今をときめく豪華出演陣が奏でるピアソラの世界に、
ロマン心をくすぐる懐かしい作品を華やかなオーケストラ演奏で・・・。
宮崎に降り注ぐ贅沢な音のシャワーをどうぞお楽しみください。

ここが聴きどころ！

なんといっても、映画を全編上映しながら、生のオーケストラ・サウンドを楽しむことができる！演奏は、イタリアのローマを本拠地に活躍するローマ・イタリア管弦楽団。アカデミー賞受賞作品「ライフ・イズ・ビューティフル」や「イル・ポストモダン」などの数々の名作のサウンドトラックを手掛けたオーケストラです。ポップミュージックからクラシック、ジャズに至るまでの幅広いジャンルにおいてイタリアを代表するオーケストラのひとつとして活躍しています。スクリーンでの映画上映と生演奏でお届けする「ローマの休日」全編上映ライブ・コンサート！ぜひ会場で映画・音楽の臨場感をお楽しみください！



ローマの休日

全編上映 ライブコンサート



ニコラ・マラスコ
(指揮)



ローマ・イタリア管弦楽団

※原語(英語)上映/日本語字幕付き

日時:11月26日(土) 開演14:00

会場:メディキット県民文化センター
(宮崎県立芸術劇場)
アイザックスターンホール

[出演者] ニコラ・マラスコ(指揮)、
ローマ・イタリア管弦楽団

あらすじ

ヨーロッパの某国のアン王女(オードリー・ヘップバーン)は、親善旅行の一環で訪れたローマにて歓迎舞踏会に出席する。その夜、日々の激務とつまらない社交辞令にストレスを感じていた王女は、気が高ぶりなかなか寝付けず、ふと滞在先の宮殿から逃げ出してしまふ。そして、偶然に出会ったアメリカ人記者のジョー・ブラドリー(グレゴリー・ペック)とつかの間の非日常を過ごすうち、二人の間には強い恋心が生まれていた。アン王女とジョーの恋の行方はいかに・・・。



御神木ヴァイオリン

— OTODAMA —

出演者の音楽人・山内達哉さん(ヴァイオリン)に、今回の公演についてお話を伺いました。

Q1.今回使用される楽器、TSUNAMIヴァイオリン・天空ヴァイオリン・御神木ヴァイオリンについて教えてください。

TSUNAMIヴァイオリン

このプロジェクト設立当初から携わっており、東日本大震災で発生した津波の流木から作られたヴァイオリンで、鎮魂と防災の意を込めて、これまでに多くの場所にて演奏をしています。

天空ヴァイオリン

御神木ヴァイオリンの製作者である中澤宗幸さんの故郷であり、私が観光大使や音楽祭の音楽監督を務める兵庫県朝来市にあります、「天空の城」と呼ばれる竹田城跡のシンボル松が、観光客の増加により枯死してしまったことを知り、その枯死した松を使ってヴァイオリンを作ることを朝来市に提案しました。現在、演奏会などで得られた収益金で、史跡の維持保全活動を支援しています。

御神木ヴァイオリン

製作のきっかけは、演奏活動でとある神社を訪れたときに、樹齢何百年という御神木を見てその偉大さに感動したことでした。生まれ育った宮崎のために何か恩返しができないかと考えていたこともあり、御神木でヴァイオリンを作ってみたらどうだろうと思いました。

そこで「神話の里 文化・芸術育成アソシエーション」の代表 岩満さんはじめ皆様共感していただき、御神木ヴァイオリン製作、実現に至りました。



Q2.ヴァイオリン製作者の中澤さんについて教えてください。

2人の巨匠が手掛けたヴァイオリン



中澤宗幸さん

製作を手掛けた中澤さんは、ヴァイオリンドクターとして国内外のヴァイオリニストの演奏を支えています。中澤さんは、御神木ヴァイオリンの製作依頼を受け、「最後の使命だ」と思って、魂を込めて

作ります」と語っています。御神木は一般的なヴァイオリンに使われている材質と異なるため、製作は困難を極め、2年以上の歳月をかけてついに完成させました。

御神木ヴァイオリンの裏板には、『天孫降臨』をテーマにした絵が描かれています。描いたのは、日本を拠点に創作活動をしているフランス人の画家・マークエステルさん。日本神話をモチーフにした作品を描き、全国の神社に奉納しています。県内でも高千穂神社・狭野神社をはじめ、各地の神社に作品を奉納するなど縁が深く、そんなマークエステルさんの描いた作品が、御神木ヴァイオリンの音色に彩りを添えます。



マークエステルさん

Q3.今回の出演者について、教えてください。

私は、宮崎の豊かな自然の中で育ち、失われつつある『日本の原風景』や『ふるさと』をテーマにした曲を作り、尺八や和太鼓といった和楽器との共演スタイルで演奏活動を行っています。演奏活動の他、近年は堤幸彦監督の映画や、佐々木蔵之介主演のドラマなどの作曲、ほか音楽祭やイベントのプロデュースも多数手掛けるかわら、桐朋学園芸術短期大学作曲非常勤講師として勤務、「みやこんじょ

大使」を務めています。

共演者は、故郷宮崎の自然や歴史、文化、人の心を音に托し活動される、宮崎を代表する和太鼓奏者の岩切響一さん、「日本の心」を届けに私と一緒に多くの海外公演も行っていた尺八奏者の大河内淳矢さん、私が所属していた「宮崎ジュニア・オーケストラ」の恩師である土田浩さんを筆頭に、想いに共感して下さった方々で結成された「みやぎ SHINWANOSATO合奏団」、そしてパーカッションの谷口潤実さんはじめ、私の尊敬するアーティストの集結により、メンバーを構成しました。

Q4.今回の公演のために制作された新曲について教えてください。

御神木ヴァイオリンのためにオリジナルの曲を作りました。曲名は、『Re:BORN～御神木ヴァイオリン誕生～』。“reborn”は、『再生』や『生まれ変わる』を意味します。「この曲を通して天孫降臨を表現したい」と思う一方、「聴く人それぞれが自由に解釈してほしい」と願っています。

Q5.お客様にメッセージをお願いします!

「多くの人たちの想いや技術が結集し、誕生した御神木ヴァイオリン。今後は、宮崎だけでなく全国各地の祭事などの場で、地元のヴァイオリニストに演奏してもらい、ヴァイオリンとしての役目を全うするまでの数百年、神話のふるさと・宮崎で誕生した数々の物語(ストーリー)とともに、世界中でその音色を響かせ続けることとなります。その記念すべき第一回目の本公演に、皆様是非いらしてください。御神木ヴァイオリンと演奏家の紡ぎ出す音色で、『幻想音世界』へ誘います。」

公演情報

’22みやぎきの舞台芸術シリーズI 御神木ヴァイオリン ～OTODAMA～

10月16日(日) 開場 13:15/開演 14:00

会場:メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)演劇ホール

[出演者] 山内達哉(ヴァイオリン)、岩切響一(和太鼓)、大河内淳矢(尺八)、土田浩(指揮)、青木将(ギター)、西村友貴(ウッドベース)、小堺香(ピアノ)、谷口潤実(パーカッション)、みやぎSHINWANOSATO合奏団

[曲 目] Re:BORN ～御神木ヴァイオリン誕生～/作曲:山内達哉
HA JI MA RI ～improvisation～/作曲:岩切響一・谷口潤実
霧島 ～約束の地～/作曲:山内達哉
NOZOMI/作曲:山内達哉 映画「望み」より 他

アートな学び舎 2022



宮崎県立芸術劇場がお届けする演劇ワークショップシリーズ「アートな学び舎」。しっかり学びたい方も、「ちょっとだけ覗いてみたい」という方も。普段はお仕事や学校がある方も、子育てや仕事が一と段落して自由な時間ができた!という方も。たくさんの方に気軽にご参加いただけるように、内容も対象もバラエティに富んだ講座をご用意しています!

これから開催する講座・ワークショップ

これから開催するのはこちらの2つ! お申し込みはチラシまたは劇場ホームページからどうぞ!

探るカラダ、遊ぶワタシ

9月

カラダの可能性を広げてみよう!

ダンサー・振付家の康本雅子さんと一緒に、カラダを探索してみる2日間のワークショップです。知らなかった、気づかなかった、自分のカラダを発見するかも。ダンスや体を動かすことが好きな方も、未経験だけど興味がある!という方も大歓迎です。

【講師】



康本雅子
ダンサー・振付家

【日時】

9月23日(金・祝)、24日(土)
両日とも13:00~17:00

【会場】大練習室2

【対象】中学生以上

【定員】15名程度

【参加料】2,000円

【応募締切】9月7日(水)必着・受信



連続講座 戯曲を読み解く! 2022

10月~12月

実際の作品をとりあげながら、戯曲を読み解くための知識を学ぶ、全6回の講座です。少人数でじっくり取り組むので、演劇経験者の方はもちろん、初めての方、「演劇を見るのは好きだけど、戯曲を読むのは苦手…」という方も大歓迎! 今年もオンライン開催です! 遠方にお住まいの方も、ぜひご参加ください。

【講師】



立山ひろみ
劇作家・演出家、
宮崎県立芸術劇場
演劇ディレクター

【日時】全6回

10月19日(水)、20日(木)

11月16日(水)、17日(木)

12月21日(水)、22日(木)

全日程とも19:00~20:30

【会場】オンライン(Zoom)開催



【対象】高校生以上

【定員】6名

【参加料】一般5,000円、高校生~大学生2,500円

【応募締切】10月5日(水)必着・受信

終了 6月・7月の講座・ワークショップは大好評でした!

なんちゃって演劇史

6月

6月19日(日)に開催しました。その名の通り、演劇史を“なんちゃって”でひも解く!というもの。講師は劇場演劇ディレクターの立山ひろみさん。会場とオンラインの同時開催ということで、県内はもとより、奈良や福岡、大分からもご参加いただきました。

参加者の声

今まで大まかでしか知らなかった知識が線としてつながっていく感じがして大変勉強になりました。

とても広範囲からのピックアップやレビューがとてもおもしろく興味深かったです。今後の学びや好奇心の足かりをたくさんいただきました。



舞台美術への入口

7月

7月16日(土)・17日(日)の2日間で開催。講師の土岐研一さんは第一線で活躍されている舞台美術家で、当劇場の「新 かげろふといもがら物語」#1~5の舞台美術も手掛けています。最初に舞台美術家の仕事についてレクチャーしていただいたあと、コラージュの手法を使って、課題戯曲のイメージを形にすることにチャレンジしました!

参加者の声

みなさんの作品を見て、自由にモノづくりをされていて、そういう捉え方もあるのかと刺激を受けました。

次に舞台を見るときは、今までとちがった視点で舞台を見てしまおうと思います。



のまど 油津ぶらり旅

レポート

プロジェクト「の、まど」のひとつとして、日南市の油津商店街を会場に開催した『油津ぶらり旅』。6月に商店街をぶらりと旅して物語を書くというワークショップを行い、7月にはその物語をもとに小さな作品をつくり、最後にショーイングを行いました！今回はその様子をご紹介します♪

6月のワークショップ



初日は、油津商店街を「ぶらり」と旅しました。商店街には、よく見ると気になるものばかり！屋根にシーサーが鎮座する公衆電話や、大人も思わずこいでみたくなるブランコなど。参加者の皆さんには、気になったものをカメラで撮ってもらいます！また、商店街の方から昔の様子やお仕事のお話などを伺いました。

2日目、物語づくりに挑戦！撮った写真を4コマ漫画の1コマに使い、自由な発想で物語を書いていきます。お花屋さんのお花が旅に出たり、商店街に宇宙人が調査にやってきましたりと、それぞれの視点で油津商店街を切りとり、そこから自由な発想で数々の物語が生まれました。



参加者の声

●普段だと聞けない商店の人の昔話が聞けたり、いろいろな年代の視点や想像力を体験できてよかったです。

●30年以上住んでいるのに知らない場所や出来事が知れて、ますます油津が好きになりました！



7月の作品創作ワークショップ&ショーイング



読み合わせ

6月に生まれた物語をもとに、立山ひろみ演劇ディレクターが台本を執筆。ショーイングに向けて作品づくりを行っていきます！初日の読み合わせでは、みなさん緊張しながらも、割り振られた役のやり取りに笑い声が起こるなど、とても楽しそうに取り組んでいました。衣装や小道具も、各自で家にあるものを持ち寄り、決めていきます。稽古になると、ああしようこうしようと、アイデアを出し合う場面も。

2日目の本番直前には通し稽古を行い、最終チェック。そしていよいよショーイング本番！演劇の経験がない方がほとんどでしたが、緊張を感じさせない生き生きとしたパフォーマンスで、客席から笑い声も。終演後、2日間の振り返りをして、2日間のワークショップを終えました。



衣装や小道具の確認



稽古中



本番

参加者・来場者の声

作品創作ワークショップ

- 普段できない貴重な体験ができ、楽しかったです。
- ショーイングが終わって、さっきまで舞台上に立っていた自分にびっくりしました。すごく楽しい時間でした。

ショーイング

- 商店街のいろいろなモチーフが入っていて良かったと思います。ファンタジックな部分と現実がまざり、出演者の楽しい雰囲気良かったです。

『油津ぶらり旅』について、もっと詳しく書いたタブロイド紙を後日発行予定です！見かけたら、ぜひ手に取って読んでみてくださいね。これからもプロジェクト「の、まど」は、県内各地で展開していきますので、どうぞお楽しみに！



プロジェクト「の、まど」
劇場をとおびだして、広く県民の皆さんに、音楽や演劇などの舞台芸術をお届けしようと、2021年に始まったプロジェクトです。

劇場休館のお知らせ

宮崎県立芸術劇場では、耐震性の強化を図るため、施設設置者である宮崎県による天井の改修工事の実施が見込まれております。

この工事実施予定に伴い、下記のとおり施設を休館する予定です。

施設のご利用や公演の鑑賞でご来館いただいている皆様には、ご不便をおかけすることになり、大変心苦しい限りですが、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

※工事期間等、詳細についてはわかり次第、劇場ホームページ等でお知らせいたします。

期間の目途

令和5年夏～令和6年

令和5年8月以降の施設利用の予約については、受付を停止いたします。



メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 自主事業公演チケット情報 2022年

9月11日(日) 開演 14:00	イベントホール	環ROY『遊ぶことば』 【出演】環ROY(ラッパー) 〈全席自由〉 一般1,000円/U25割500円	チケット発売中
9月17日(土) 開演 11:00	アイザックスターンホール	パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.172 土曜日の朝はオルガンでランチを…「オルブラ」 【出演】永見亜矢子(オルガン)、伊豆謡子(司会・進行) 〈全席自由〉 4歳以上500円/なかよしチケット700円(4歳以上の2人1組、前売りのみ) ※ランチセット券は完売しました。	チケット発売中
9月23日(金・祝) 開演 14:00	演劇ホール	クラシック・キャラバン2022 ピアノ没後30周年 ガラ・コンサート 【出演】上野由恵(フルート)、上村文乃(チェロ)、小林美樹(ヴァイオリン)、福田進一(ギター)、三浦一馬(バンドネオン)、ロー・鷹秀(ピアノ)、朝岡 聡(司会)、【スーパー・クラシック・アンサンブル】ヴァイオリン:落合真子、小関郁、篠原悠那、東條太河、堀真重葉、古江美桜、米岡結姫 ヴィオラ:鈴木慧悟、鈴木大樹、田原綾子、チェロ:上村文乃、矢部優典、コントラバス:加藤雄太、廣永瞬 〈全席自由〉 S席5,000円(4,500円)/A席3,000円(2,700円)/U25割 全席種半額	チケット発売中
10月16日(日) 開演 14:00	演劇ホール	'22みやざき舞台芸術シリーズI 御神木ヴァイオリン〜OTODAMA〜 【出演】山内達哉(ヴァイオリン)、岩切響一(和太鼓)、大河内淳矢(尺八)、土田浩(指揮)、みやざきSHINWANOSATO合奏団、青木将(ギター)、西村友貴(ウッドベース)、小堺香(ピアノ)、谷口潤美(パーカッション) 〈全席自由〉 一般3,000円/ペア券5,000円(一般2名)/U25割1,500円	チケット発売中
10月29日(土) 開演 14:00	演劇ホール	こどももおとなも劇場#7 茂山千五郎家「狂言」 【出演】茂山千五郎、茂山茂、網谷正美、松本薫、井口竜也、山下守之 〈全席指定〉 一般2,000円(2,300円)/U25割1,000円/親子割(4歳から中学生+一般)3,000円	チケット発売日 会員:9月4日(日) 一般:9月11日(日)
11月6日(日) 開演 14:00	イベントホール	ひなたのバロック#3 【出演】大塚直哉(企画、監修/チェンパロ)、小林亜起子(美術史家)、市瀬陽子(古典舞踏家) 〈全席自由〉 一般2,500円(1,800円)/U25割1,000円	チケット発売中
11月26日(土) 開演 14:00	アイザックスターンホール	「ローマの休日」全編上映ライブ・コンサート ※原語(英語)上映/日本語字幕付き 【出演】ニコラ・マラスコ(指揮)、ローマ・イタリア管弦楽団 〈全席指定〉 S席7,500円(6,700円)/S席ペア(前売りのみ)14,000円(12,600円)/A席5,000円(4,500円)	チケット発売日 一斉:9月18日(日)
11月30日(水) 開演 11:00	大練習室2	はじめてのクラシック♪#14〜ピアノ〜 【出演】高場涼子(ピアノ) 〈全席自由〉 大人500円/子ども(未就学児まで)無料	申込受付中

【Attention(ご注意)】◎記載情報は変更になる場合があります。◎()内はくれっしえんど倶楽部会員価格です。◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く ◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。※一部公演除く

プロジェクト のまど in 椎葉村 ワークショップ レポート

表紙でもご紹介した「しいば!おどろば!2022」。7月12日、ダンサーの黒木裕太さんとピアニストの志城慶香さんが、椎葉小学校の子どもたちとともにプレWSを行いました。子どもたちからは「一緒に踊れて楽しかった」、「自分じゃないかのように身体を動かし、踊ったりできた」といった感想をいただき、保護者からは「子どもたちの笑顔があふれていて、幸せな時間でした」というお声をいただきました。そして、このプロジェクトは8月の本編へと続いていきます。詳細は次号で!お楽しみに。

チケットセンターでより

チケットセンターでチケットを購入する際に、座席表を見ながらお席を選ぶことができるようになりました。



すでに、ネットでは座席を見ながら選ぶことができますが、劇場の窓口でも同じように空席の状態などを確認しながら購入できるようになりました。どうぞご利用ください♪

お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

Twitter and facebook 随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしております